

わたしたちの医療  
**医TVスペシャル**

**BS朝日**

2018年**12月30日(日)**あさ**8時00分**~8時30分**放送**

**「地域生活者が  
 安心して暮らすために」**

— 茨城県の取り組みから救急医療の現状と課題について考える —

私たちが安心して暮らすためには、24時間 365日適切な治療を提供してくれる救急医療体制が不可欠です。しかし総務省消防庁の発表では、119番通報から医療機関収容までの所要時間が平成14年は29.9分だったものが、平成28年には42.7分と長くなっています。

この一因には、現場に到着した救急隊が受け入れ病院確保に時間を要していることが挙げられます。背景には全国で深刻化する医師不足などがあると推測されます。その他、救急車のタクシー代わり利用や、コンビニ受診ともいわれる unnecessaryな夜間救急利用なども救急医療の疲弊につながっています。

本企画では茨城県、茨城県医師会、救急医療を担う医療機関の取材を通して「**地域生活者が安心して暮らすために**」救急医療の現状と課題について考えます。

取材協力

茨城県保健福祉部

茨城県医師会

筑波大学附属病院

社会福祉法人 恩賜財団 済生会 神栖済生会病院

独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター

医療法人社団善仁会 小山記念病院

鹿島地方事務組合消防本部